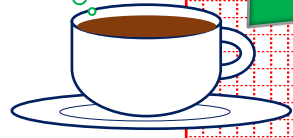


第14回



# 時間学カフェ

日時：令和元年7月16日（火）13：30～

場所：時間学研究所 所長室

（吉田キャンパス総合研究棟 106）

話題提供者

フィリップス ジョン デイヴィット 先生

（人文学部欧米言語文学講座・准教授）

【消えてゆく言語、消えてゆく特性

… ウェールズ語の消えてゆく特性】

世界の数々の言葉が力のある言語に取って代わられて消えてゆくという事はよく話題になります。あまり気づかれないが、ある言語の仕組みや特性も同じ様に主立つ言語に追い込まれて、消える事があります。遅かれ早かれ少数のかなり似通った言語を残される事になりそうです。

私が研究してきた言語はイギリス諸島のケルト系の言語、特にマン語とウェールズ語です。英国の西部で話されているウェールズ語には珍しい特性が沢山あったが、話者の数が減らない一方で、その話者の話す言葉は早く変わって、どんどん平凡な言葉となっています。

研究のやり方などを紹介したいと思います。

時間学カフェ

とは。。

この世の、あらゆることからは時間と関係しています。

どこにどれだけ「多様な時間の姿」があるのか？

ヒトの時間、社会の時間、機械の時間、心の時間・・・

提供されたテーマを元に、気ままに話の赴くままに、お茶を飲みながら交流する

研究の話でも、思いつきでも、突拍子のない考えでも、便乗発言大歓迎！

そんな時間です。

色んな分野の人との交流から新しい発見があるかもしれません♪

先生、職員さん、学生さん、学外の方、どなたでも参加OK

他分野の方大歓迎

事前申し込み不要  
参加無料  
途中入退室OK

お問合せ先

時間学研究所事務室 TEL：083-933-5848 MAIL：sh076@yamaguchi-u.ac.jp